

「新潟県中越沖地震を踏まえた原子力発電所等の耐震安全性評価に反映すべき事項」の通知受領について

平成20年9月4日
北陸電力株式会社

本日(9月4日)、当社は、原子力安全・保安院より、「新潟県中越沖地震を踏まえた原子力発電所等の耐震安全性評価に反映すべき事項¹」について」の通知を受けました。

当社としては、新耐震指針に照らした耐震安全性評価(バックチェック)の中間報告において、地震動評価では震源モデルに不確かさを考慮して適切に評価するとともに、地震観測記録や地盤調査結果等を基に地下構造特性を適切に考慮して地震動を評価しているため、基準地震動 S_s^{-2} は変わらないものと考えています。

また、施設の耐震安全性評価に用いる建屋の地震応答解析モデルについても能登半島地震の観測記録に基づいた解析により十分妥当性が確認されたモデルを用いています。

このように、今回の通知内容を踏まえても、当社が行った耐震安全性評価に影響を与えるものではないと考えています。

いずれにしても、中間報告については、現在、国において専門家による審議をいただいているところであり、適切な対応をしてまいります。

なお、中越沖地震の知見反映については、同院において、昨年12月27日に中間取りまとめがなされており、その中で、柏崎刈羽原子力発電所で実際に観測された地震動を踏まえた対応については、更に検討し改めて提示するとされていました。

以上

1 「新潟県中越沖地震を踏まえた原子力発電所等の耐震安全性評価に反映すべき事項」
柏崎刈羽原子力発電所各号機の原子炉建屋基礎版上の観測地震動が設計時に想定した地震動を上回った要因の分析、今回の地震による柏崎刈羽発電所への影響の検討等が進んだことを踏まえ、今回の地震から得られる知見を整理し、地震動評価における震源モデルのパラメータの不確かさの考慮および地下構造特性の影響の考慮や施設の耐震安全性評価における地震応答解析モデルの確認等について、原子力安全・保安院が具体的な反映事項を取りまとめ、事業者に通知したもの

2 基準地震動 S_s

新耐震指針において、原子力発電施設の耐震安全性を確保するための耐震設計の前提となる地震動